

令和3年2月10日

令和2年度 地域貢献活動支援（中間）報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 大学院医学系研究科
神経病態内科学
氏 名 富本秀和

活動テーマ	地域における認知症患者の早期診断と地域包括ケアへの紐付の試み
実施期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和3年 3月 31日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <p>認知症初期集中支援事業の対象者の把握は地域包括支援センターを介した相談や家族らからの相談に頼っており、地域包括ケアに紐づけない認知症患者の発見が困難という問題がある。レセプトデータ、介護保険利用歴からケアに紐づけない認知症患者、軽度認知障害者を同定しその特性を明らかにし、早期介入の可能性を探ることを目的とする。</p> <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり）</p> <p>フェーズ2の調査では、包括ケアに紐づけられていない患者14名が抽出された。このうち3名が地域包括支援センターの支援につながり、2名から生活面の相談があり、地域活動への参加の声掛けを行っている。</p> <p>(3) 共同実施者との連携状況</p> <p>コロナ感染拡大の影響で、対面での打合せ等に行えない現状はあるが、WEB会議を行いながら、三重大学、たまきあい、サポーターさくら、玉城町役場のスタッフ間の連携はとれている。3月22日にはサポーターさくらを中心としたメンバーを集め、情報交換会を開催予定である。</p> <p>(4) 大学の教育・研究成果のかかわり</p> <ul style="list-style-type: none">・水谷あかね, 田部井賢一, 加藤奈津子, 野口美枝, 西村美紀子, 中川泰成, 西野珠代, 吉丸公子, 佐藤正之, 富本秀和. レセプトデータを利用した, 介護サービス利用歴のない認知症患者の把握と介入の取組み 第39回日本認知症学会学術集会 2020. 10. 26-28 名古屋・web・新堂晃大. 「三重県基幹型認知症疾患医療センターの活動報告」第8回認知症疾患医療センター 全国研修会三重大会 2021. 1. 15-16 <p>(5) イベント等開催実績（名称, 実施場所, 参加人数等）</p> <p>玉城町・認知症サポーター情報交換会 開始予定 日時：2021年3月22日（月）10：00～12：00 会場：玉城町保健福祉会館集団検診室</p>

	<p>(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について レセプトデータ解析の取組は、過去に2回行っており、レセプトデータの解析から、3名が地域包括支援センターの支援介護サービス利用につながり、2名から生活面の相談があり、地域活動への参加の声かけを行っている。を開始している。</p>
--	---

○本報告書は、継続申請時に社会連携チームに提出してください。

※Web掲載が可能な活動内容の記録写真等があれば、適宜、本報告書に貼付して提出願います。